

【基礎分野】

科目名	人間関係論	講師名	非常勤講師	学	1	履修期	第2学期
単 位	1単位			年			
時間数	30時間						
授業概要	<p>対人関係とコミュニケーションについての諸理論をもとに、他者と集団の中の人間の心理と行動、およびコミュニケーションの本質と技法について学び、自分自身の人間関係とコミュニケーションのあり方を分析的に見る視点を養う。</p> <p>よりよい人間関係の構築・改善と自己の成長、健康なライフの実現のために、学んだ理論を日常生活の中で実際に活かす力を習得する。</p>						
授業科目目標	<p>1. 人間存在と人間関係のとらえ方について理解できる。</p> <p>2. 他者とコミュニケーションをとることで生じる様々な相互関係の中から自己の傾向を知ることについて理解できる。</p>						
授業計画	<p>1回：人間関係のはじまり：第一印象、印象形成、対人認知</p> <p>2回：人間関係の形成：対人魅力、好意・愛情、友情</p> <p>3回：人間関係の展開(1)：対人コミュニケーション／文化とコミュニケーション・スタイル</p> <p>4回：人間関係の展開(2)：説得的コミュニケーション／マス・コミュニケーション</p> <p>5回：人間関係の発展 自己表現(1)：アサーション①</p> <p>6回：自己表現(2)：アサーション②</p> <p>7回：自己表現(3)：DESC法</p> <p>8回：自己表現(4)：ブレイン・ストーミングによる問題解決①—グループ・ワーク</p> <p>9回：自己表現(5)：ブレイン・ストーミングによる問題解決②—グループ・ワーク</p> <p>10回：集団と個人(1)：援助行動、社会的促進と抑制、社会的手抜き、没個性化</p> <p>11回：集団と個人(2)：集団の魅力、集団の規範・凝集性・圧力、同調・服従、少数者の影響</p> <p>12回：対人関係の問題：攻撃行動／児童虐待とDV</p> <p>13回：人間関係の改善と促進(1)：交流分析</p> <p>14回：人間関係の改善と促進(2)：ストレス対処と幸福感</p> <p>15回：終了試験</p>						
評価方法	筆記試験の結果と出席・受講態度・授業のまとめとレポートを総合的に評価する。						
テキスト	1. 藤本忠明・東 正訓 (編) 2012 『ワークショップ人間関係の心理学』ナカニシヤ出版。						
参考書	<p>1. 平木典子 2007 『自分の気持ちをきちんと伝える技術』 PHP 研究所</p> <p>2. 平木典子・沢崎達夫・野末聖香 2002 『ナースのためのアサーション』 金子書房</p> <p>3. 岸見一郎・古賀史健 2013 嫌われる勇気—自己啓発の源流「アドラー」の教えダイヤモンド社</p>						
学生へのメッセージ	毎回の講義を大切に、よく聴き・感じ・考え、感想レポートを毎回必ず提出すること。						